

○ 財団月間、各クラブで出前卓話

今月 10 月は財団月間です。各クラブで恒例の出前卓話をさせて頂いています。一部、要点をご紹介します。

~~~~~

ロータリー財団は 1917 年のアーチ. C. クランフの提唱により創設されました。我々ロータリアンが社会に奉仕するための財源を我々自身の手で集める、それを殖やし、良いことに使うためです。これを実践するために2つの代表的な補助金があります。ひとつは地区補助金(DG)、もう一つはグローバル補助金(GG)です。

今年度は3年前の保延年度に地区で集まった \$308,029 に運用益\$25,492 を加えた額がDDF(地区財団活動資金)とWF(国際財団活動資金)に振り分けられ、そのうち地区補助金として 49 クラブが合計\$96,663 を活用しています。



DGはクラブの皆様で比較的自由に使える補助金です。2820地区の地区補助金参加率(池田年度は 70.9%)は全国トップクラスです。

一方、GGは国際的で大規模なプロジェクトに利用できますが、6つの重点支援分野(平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、母子の健康、水と衛生、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展)に限定されています。分野を絞ることで我々の「良いこと」がより効果を上げられるようにするためです。なお、21-22 年度からは「環境の保全」が追加され重点支援分野が7つになります。

GGも当地区では積極的に活用されており、「世界で良いことをする」を実践していると言えます。

また、GGは奨学金にも利用されます。昨年亡くなられた緒方貞子さんのようにGGの奨学金で学び、国際舞台で目覚ましい活躍をされている方がおられます。当地区でもここ数年、毎年奨学生を送り出しており、将来は緒方さんや現在国連 No.2 の中満泉さんのような活躍をされることを期待したいです。



ロータリー財団のもう一つの重要なプログラムとして「ポリオプラス」があります。本年 8 月にはWHOがアフリ

カ地域での撲滅を宣言し、残るはパキスタンとアフガニスタンのみとなりました。ロータリーとしては完遂するまで続ける方針です。

このように世界で良いことを“自分たちで”で行うために、資金を集め・増やし・活用することをサポートしているのが、ロータリー財団です。確実に世界で良いことに繋がっているロータリー財団の寄付とプログラムに、是非ご参加下さい。

~~~~~

○ 奉仕プロジェクト・R 財団合同セミナー

12 月 2 日に予定されていた標記のセミナーは県内の Covid-19 感染者増加のため、**2021 年 1 月 16 日に延期の上、Zoom での開催となりました。**

財団からは中村年度地区補助金の報告、池田年度地区補助金プロジェクト実施及び新井年度の計画に向けてのアナウンス、グローバル補助金の活用などについてアナウンスさせて頂きたく予定です。

この財団 NEWS でも随時ご案内させて頂いている内容が含まれます。本誌もクラブ内でご利用ください。

なお、Covid-19 再拡大等の影響で地区補助金実施が難しい場合などは早めに地区社会奉仕委員会もしくは財団委員会にご相談ください。

○ 11 月 18 日現在 世界のポリオ(WPV)発生状況

常在国	2020 1/1-11/18	2019	2018
パキスタン	81	147	12
アフガニスタン	54	29	21
世界合計	135	176	33

※ GPEI Polio Today

10 月 24 日は世界ポリオデーでした。特別オンラインプログラムが公開され、アフリカ地域における野生型ポリオ根絶の認定という歴史的達成事項にスポットライトが当



てられました。

パラリンピック選手のアデ・アデピタン氏が今年のプログラム
 の共同ホストの一人となり、幼少期にポリオにか
 かった体験から「私はナイジェリア生まれなので、この達
 成を心から嬉しく思う」と述べ、小さいときからこの日を待
 ち望んでいたと述べました。

○ PHS の状況

ポール・ハリス・ソサエティ(PhS)は、ロータリー財団年
 次基金、ポリオプラスまたは承認された財団補助金へ、
 一括もしくは合計で毎年 1,000 ドル以上をご支援くださる
 個人の認証の一つです。

2013 年 7 月に財団の正式な認証プログラムとなり、
 継続的に活動を支える原資となっています。10 月 26 日
 現在、日本の PHS 会員は、1,010 名となりました。

2820 地区は 10 月に 1 名増となり 61 名となっています。

○ 2820 地区の寄付状況(10 月末)

10 月末日時点で**年次寄付\$60,485、ポリオプラス他
 \$9,216、恒久基金\$12,934 で合計\$82,635(前年同月比
 91%)**となっています。

	Number of Members	Annual Fund				Total Giving
		Goal	Total	Goal Achieved	Non-Giving Clubs	
2020-21	1,881	\$308,190	\$60,485	19.60%	33	\$82,635
2019-20	1,955	\$244,588	\$298,070	121.90%	0	\$395,930
2018-19	1,944	\$232,263	\$286,920	123.50%	0	\$380,569

○ グローバル補助金事業の現状(11/23)

GG 番号、**重点分野**、**実施地**のみ記載

◇財団の承認済みの GG 13 件

- ① GG1753266 **基本的教育と識字率向上、ネパール**
- ② GG1989318 **疾病予防と治療、ネパール**
- ③ GG2013334 **疾病予防と治療、マレーシア**
- ④ GG2014409 **疾病予防と治療、ネパール**
- ⑤ GG2014696 **平和構築と紛争予防(奨学金)、米国**
- ⑥ GG2014949 **疾病予防と治療、水と衛生、ネパール**
- ⑦ GG2092394 **疾病予防と治療、タイ**
- ⑧ GG2095142 **疾病予防と治療、タイ**
- ⑨ GG2095449 **平和構築と紛争予防、水と衛生、
 地域社会の経済発展、フィリピン**

- ⑩ GG2095986 **疾病予防と治療、タイ**
- ⑪ GG2098884 **疾病予防と治療、タイ**
- ⑫ GG2117993 **疾病予防と治療、タイ**
- ⑬ GG2118986 **疾病予防と治療、台湾**

◇提唱者/地区の承認待ちの GG 2 件

- ① GG2016816 **基本的教育と識字率向上、ネパール**
- ② GG1985546 **地域社会の経済発展(VTT)、
 日本(インドネシア)**

◇提出済みの GG 2 件

- ① GG2118550 **疾病予防と治療、タイ**
- ② GG2119378 **疾病予防と治療、タイ**

※)GG2118986 は鹿島臨海 RC が協カクラブとなっています
 が、2820 地区の DDF 利用はありません。

10 月 17 日から 11 月 20 日の間に GG1983572(フィジ
 ー、疾病予防と治療プログラムの推進)が完了となり、
 GG2118986(上記参照)が TRF に承認されました。

財団奨学生として予備審査を行っていた佐野耕至君
 が予備審査を通過し、これから本申請と進む予定です。

○ ベネファクターについて

ベネファクターについて、何度かご質問をいただくケ
 ースがありましたので、改めてご紹介いたします。

**恒久基金への寄付または誓約額 1,000 ドル以上の
 個人に贈られる認証です。**この認証にはレベルがないた
 め、初めて恒久基金寄付の累計が 1,000 ドルに達した
 時、または 1,000 ドル以上の誓約をしたときに**一度だけ
 認証されます。**また、遺贈友の会入会もベネファクターの
 認証の対象となります。

ベネファクターの認証の対象となる寄付分類は、恒久
 基金のみとなります。寄付分類欄に必ず恒久基金を記
 入してください。ベネファクターは、**個人からの寄付が対
 象となります。**

《編集後記》

毎年財団委員が苦勞して準備している出前卓話資料で
 すが、ご依頼いただいたクラブのその時間だけのものになっ
 てしまうのが勿体なく思い、いささか冗長ではありますが、
 要旨文を掲載させていただきました。また、委員会などの
 集まりごとがなく、写真素材も少ないため、文字ばかりの
 NEWS で申し訳ありませんが、是非ご活用ください。